

第4回 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年5月17日（火） 9：32～11：39	
開催場所	町田市立南第二小学校 3階コンピュータ室	
出席者 (敬称略)	委員	尾上委員、緑川委員、井伊委員、戸木田委員、柴田委員、福土委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、上野委員、小室委員、○隅田委員、◎木下委員、山本委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター (委託業者) 株式会社教育施設研究所
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

1 第3回基本計画検討会の振り返り

新たな学校推進課 （資料1-1～資料1-2説明）

2 育てたい子ども像について

木下会長 前回の検討会において事務局から、意見募集結果を確認した上で、育てたい子ども像について皆様から意見を考えてきてほしいと説明があった。意見の発表をお願いする。

委員 よく考えて、まず実行してみて、そして一生懸命やってみる、あとは元気に過ごせると良い。

委員 子どもたちが何人かのグループになったときお互いに助け合う、進んでリーダーになる、みんなでまとまって同じ行動ができる、個人を尊重しながら助け合う、目的のために一緒に進んでいく子どもになってもらいたい。

委員 いろんなタイプの子もみんな寛容的に受け入れて、認め合える、広い考えを持てる子どもに育ててほしい。あとは、元気で明るく過ごせると良い。

委員 思いやりを持ち、みんなが参加できるとかみんながそれぞれ楽しめるとか、そのようなことを自発的に考えられる集団に育ててほしい。

委員 元気で気持ちの豊かな子どもに育ててほしい。自分を大切に、人を大切に、物を大切に、自然を大切にできる子になってほしいと意見募集にあり同感。日頃から、いいところ見つけをしたいが、年を取るごとに小さいいいところが見つけにくくなったと感じている。親が心穏やかな環境をつくるのが小学校生活で大事なことだと思う。

委員 知と徳の部分で、コロナということもあり、相手を思いやったり、人との関わりがだんだん薄くなっていると感じているが、そうではなく、相手を思いやったり、何か困ったことがあったときに他人に頼ることも含めて問題解決能力を育てられるようになってほしい。

委員 健康、人の気持ちが分かる、自分を大切にということの方が大切だと思う。

委員 子どもは自分一人で生まれてきたのではないということが分かるということ。親

がどんな気持ちで育ててきているかということが分かること。誰とでも仲よくできて、何でも一生懸命取り組めるということ。みんなで大い空間をつかって、その輪の中に入れない子がいないような、そんな学校生活が送れると良い。誰かが人の悪口を言った時に、それをいけないことだと言えること。元気で走り回って、一生懸命何でも取り組んで、お友達のことを思いやる、自分を大切にできること。

親や先生を思っていてということを聞かない子が増えていると感じている。ある程度上下関係はあるというところは分かってほしい。

子どもの間は、教えてくれる人の意見が聞けるということが一番大事なことだと思う。朝、挨拶ができたり、道路を横渡りしないであったり、ルールを守って、自分にうそをつかない、自分を大事にする、人の言うことが聞ける、そういう子になってほしいと思います。

ルールを守って、自分にうそをつかない、自分を大事にする、人の言うことが聞ける、そういう子になってほしい。

委員 よく学び、よく遊べと思う。人の痛みが分かるような子に育ててほしい。ありがとうと言える、ごめんなさいと言える、帰りはさようならが言える、そんな子に育ててほしい。

委員 子どもたちが元気に伸び伸びと学べ、進める学校になるといい。また、それを地域が見守っていけるような雰囲気があるといい。

委員 全ての事柄に対して疑問を持って、そして自ら考えて行動できる子になってほしい。正直に生きてほしい。人の言葉に動じないでほしい。好きなことをしてほしい。断り上手になってほしい。学校は人生をいかに楽しくするか学ぶ場所であってほしい。

木下会長 どのご意見もとても大切なものだと感じた。皆様からいただいたご意見、意見募集でいただいたご意見を踏まえて、2校の校長で新たな学校の教育目標(案)を作成する。作成した教育目標(案)については、本検討会でお示しさせていただき、またご意見をいただければと思う。

隅田委員 学校はいわゆる知徳体というカテゴリーで全ての面にバランスの取れた生きる力を持った子どもたちをという同じコンセプトで各校が教育目標を設定しているが、決してそこから漏れる意見はなかったと思う。具体的に、皆さんの非常に熱い思いが今日聞けたので、それをいかに短いフレーズの中にしっかりと落とし込んでいけるか、木下校長先生とも一緒に真剣に考えて、またご提示をさせていただきたい。

3 通学の負担軽減について

新たな学校推進課 (資料3-1~3-2説明)

委員 資料3-2について、南第二小学校を中心に見たとき、1.5km以内ではあるが丸で囲われている部分が一番遠いところだと思って見ている。次に、南成瀬小学校を中心にしたとき、1.5kmから出ているところだけが丸で囲われている。2つを比べるとなぜ中側と外側というので違いがあるのか。

新たな学校推進課 この資料は、直線距離で1.5kmの円を描き、通学距離が1.5km以上になることが想定される児童はこのあたりにいるということを示したものだ。1.5kmの円の内側のエリアも、実際に歩くと1.5km以上になる可能性がある。赤い円の付近の人が対象にあると想定しているという意味で見ていただきたい。

4 通学路の安全対策について

学務課 (資料4-1～4-4説明)

新たな学校推進課 (ワークショップの方法について説明)

[ワークショップ]

Bグループ ①については、子どもたちが歩くところが狭いので、ガードレールが欲しいというご意見があった。

②については、特に意見はなかった。

③については、通行人がいることや警察もよく見守ってくれているので大丈夫じゃないかという意見だった。

④については、広くて問題はないが、ガードレールがあるといいという意見があった。

新たな通学路として、クリエイトがある交差点のところは通学路にはなっていないが、南第二小側から南成瀬小に通学している子どもたちはここを横断している。ただし、ここは非常に危ないということで安全対策をしっかりとやっていく必要がある。PTAの見守り、または歩行者だけが横断できる時間をつくる、安全に信号待ちができる場所を確保するというようなご意見があった。

他に、駅前の交差点も通学路として入れたらどうかという意見があった。

基本的にガードレールがあって、安全に歩行できるような環境が欲しいという意見があった。

Aグループ ①については、通らないと恩田川北側の子どもたちは遠回りしなければならないので。①を横断することは良いという意見だった。ただし、Bグループでもあったようにこの道が危険ということで、ガードレール設置という意見もあったが、安全な枝道に入っていくのがよいのではという意見があった。

②については、南側ないしは南東側から来る子どもたちは横断しても差し支えないが、北側はやめたほうが良いのではという意見があった。渡った先にコインパーキングがあり、基本住宅なので、ここは横断させるなら南側限定、待機スペースとしても椅子に人が座っているオブジェがあるところは広がっているため、子どもたちが朝、通勤の方とかぶっても安全に信号待ちできるのではないかとこの意見だった。

北側の子どもたちをどうするかについては、クリエイト周辺は危険な部分はあるが、ここを横断させないとかなり狭いところを通すことになる。歩道が狭いのは改善する方法があると良いが車道幅が広ければ接触事故のリスクは避けられるのでは

との意見だった。西側の面を歩かせるのは、セブンイレブンやコインパーキング裏側の出入り口から出てくる車があることからこちら側は使わず、クリエイトのところまで来て横断するというのはいかがでしょうかということだった。

③・④については、現状の南第二小の通学路として指定しているが、反対側に横断する場所を限定しないと危険が伴うことから配慮が必要な場所だが、ここを通らないと厳しいお子さんもいるので、色を青にして良いのではないかという意見だった。

新たな通学路として、成瀬高校周辺の広い道については、下をくぐれるようになっていことから、広い道を直接横断しなくても、川沿いの道を通れるのではないかとということで、これは現地確認で見ていきたいところだという意見があった。

5 歴史の継承について

新たな学校推進課（資料5-1～5-3説明）

〔 ワークショップ 〕

Bグループ

ハード面については記載されているもの以外に、校長室の中に直筆の校歌が書かれているもの、歴代校長の写真がある。校長室の前に周年記念の時に撮影した職員の集合写真があり、子どもがよく見に来ているので、残せると良いと思う。その他に過去の卒業制作をまとめたものに漏れがないかというのをまた改めて調べる。また、2か月ぐらいの期間を設けて卒業生に残したいものをアンケートし、そこで意見があったものを残していくというご意見があった。残し方として、南成瀬小の跡地に残す方法や、デジタル化して残す意見があった。他にも、町田市のどこかに学校資料館のようなものを造ってこれから統合していく学校のものを残していったらどうか、新しくできる校舎の中に両校の歴史資料室を造って残す、版画美術館に寄附するという意見もあった。

ソフト面については、マラソン大会は「ランなる」に変わった。地域の方々を招いての授業など地域との連携は、南成瀬小の特徴なのでそれは残していきたいという意見があった。また、川上村に行ってレタスの収穫作業をすることはぜひ残していきたい。最近ではコロナで実施できていないが、大縄跳びなど縄跳び週間が盛んであったということで残していきたいという意見があった。農家の方と連携した学校の畑での農業体験についても残していきたいという意見があった。

Aグループ

資料に載っているものに関して、要らないものはないというのが結論です。ただ、残し方は今後いろいろ工夫をしていく必要があるだろうと思っている。南第二小にも農家との連携はしている。風土みたいなのはお互いに大事にしようということを確認した上で、新たな継承の仕方を考えていくことが大切だと思う。

ハード面については、学校の設計が縛られてしまうため、願いとして聞いてほしいが楓の木を残したいという意見は多い。他にも、二宮金次郎像と門扉の石に関し

ては、南第二小の歴史的な経緯で、140周年記念のときに地域の方のご厚意で移設をしたもの。何とか何らかの形で残して欲しいという意見がある。みんなで知恵を出して、お互いのいいところをどうやって残すかというところで手をつないでいけたらと思う。

6 学校施設配置について

新たな学校推進課 (資料6-1説明)

委託業者 (資料6-2説明)

委員 今日为学校見学を踏まえて、これからも追加の意見が言えるのか。また、その意見は反映されていくのか。

新たな学校推進課 検討を進めていくのでステージは替わってはいくが、振り返るような形でも意見があれば言うことは可能。可能な範囲で意見を吸い上げていく。

7 第5回基本計画検討会開催概要

新たな学校推進課 2022年6月21日(火曜日)9時30分～南成瀬小学校

8 閉会

会長 (閉会の挨拶)